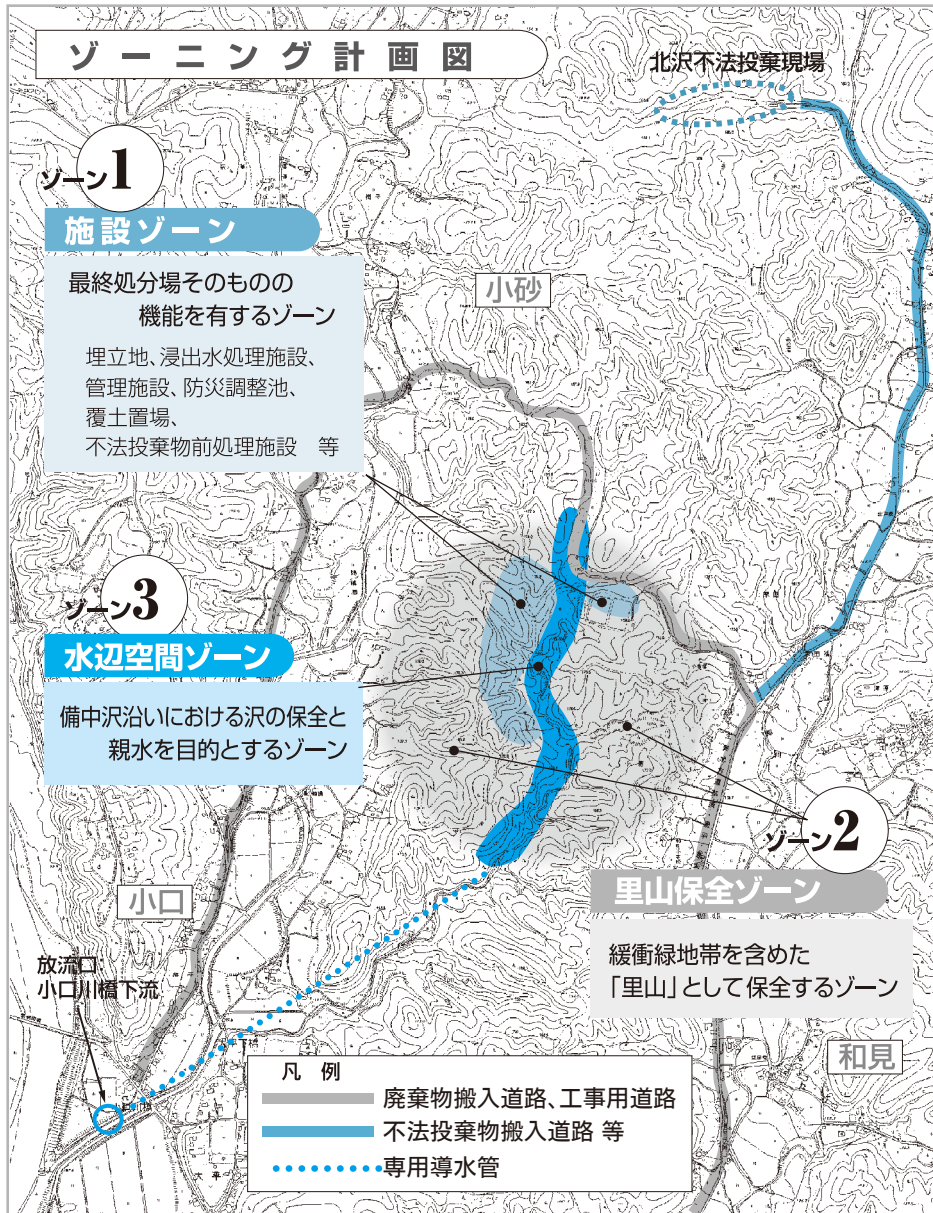


北沢の不法投棄の解決に向けて(11)

前回は、県で計画している処分場の概要について「馬頭最終処分場基本計画」にある4つのコンセプトを説明しました。今回は、ゾーニング計画を説明します。
 処分場は、周辺地域からの景観等に配慮するとともに、安全面、自然環境面への影響を考慮した施設配置になる計画で、大きく分けて3つのゾーンからなります。



不法投棄現場周辺にかかる水質分析結果

(平成18年度経年変動調査分)

小口字北沢地内不法投棄現場周辺の水質分析結果をお知らせします。

調査項目	健康項目、生活環境項目、その他
採水日	平成18年6月12日及び26日
採水場所	1 周辺環境水 (1) 投棄地直下河川 (2) 農業用水 (3) 小口川上流 2 投棄現場 (4) 投棄地下流側浸出水 (5) 投棄地内浸出水 3 周辺人家井戸水 (6) 人家井戸水2ヵ所

調査結果⇒周辺への汚染拡大の兆候は認められない。
 詳細については環境整備対策室 (☎0287-92-1110) にお問い合わせください。

町民説明会のお知らせ

馬頭最終処分場基本設計(案)及び環境影響評価書(案)に関する説明会を開催しますので、ぜひご参加ください。
 日時 9月21日(木)午後7時～午後9時
 場所 馬頭総合福祉センター

①施設ゾーン
 最終処分場そのものの機能を有するゾーンです
 埋立地、浸出水処理施設、管理施設、防災調整池、覆土置場、北沢不法投棄物前処理施設などを整備します。

②里山保全ゾーン
 緩衝緑地帯を含めた「里山」として保全するゾーンです。現状のまま手を加えないで自然を保全していきます。

③水辺空間ゾーン
 備中沢沿いにおける沢の保

全と親水を目的とするゾーンです。備中沢の自然と親しみ触れ合えるような整備を目指します。
 道路計画は、できる限り既存の道路を利用し地域住民の交通安全に十分配慮するとともに、道路の機能面、利用面等を考慮した将来にわたって地域ネットワークが図れる計画とします。

9月10日は「下水道の日」です

・・・下水道 いつか私に もどる水・・・

「下水道の日」とは・・・

「下水道の日」は、世界の先進国の中でも遅れていた下水道の普及（当時の普及率は6%）を図る必要があることから、「全国下水道促進デー」として、1961年（昭和36年）に始まり、2001年により親しみのある名称として「下水道の日」に変更されました。

○下水道の役割

下水道は私たちが日常使った洗濯やお風呂、台所の水やトイレのし尿（汚水）を、下水管を通じて下水処理場に集め、きれいな水に浄化して自然に還元します。（雨水は流すことができません。今までどおり側溝等に流してください。）下水道を利用することにより、

- ・川の水がきれいになります。
- ・水洗トイレが使えます。
- ・汚れた水が側溝へ流れなくなり、悪臭や蚊、ハエの発生を防ぎます。

○那珂川町の下水道

那珂川町の下水道は、市街地とその周辺地域を中心とした、馬頭処理区、小川処理区

の汚水を浄化し、きれいな水になった水を川に放流します。

馬頭処理区

平成18年3月に供用を開始し、市街地の一部において下水道が使えるようになりました。今後も計画区域内の整備を実施していきます。

小川処理区

平成5年3月に供用を開始し、下水道区域内の約80%の方が下水道を使っています。

○下水道へ接続のお願い

下水道が整備されても、下水道区域の皆さんに利用していただかなければ、水路の汚れや悪臭は無くなりません。下水道が使えるようになったら、快適な生活環境の実現を

図るために、一日も早く下水道に接続くださるようお願いいたします。

下水道は、地域ぐるみの取り組みで効果が発揮されます。

なお、汚水を下水道へ流すための接続工事は、「那珂川町排水設備指定工事店」でなければ施工できませんので、必ず指定工事店に依頼してください。指定工事店では諸手続きを代行しますので、簡単に手続きを済ませることができま

問い合わせ

上下水道課下水道係
☎0287-92-2002

水道メーター交換のお知らせ

水道メーター交換時期（8年経過）を迎えたお宅へ、町指定給水工事業者がお伺いしますので、ご協力ください。

交換時期 10月1日～10月15日
問い合わせ 上下水道課水道係
☎0287-92-2002

初めまして

ようやくしのぎやすい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。さて、自己紹介します。新しい国際交流員として、那珂川町の姉妹都市ホースヘッズ村から5時間半くらい離れた、カナダのパローナーという町から来たアンドリュー・シュークと申します。家族は父と母と4人兄弟で、私は長男です。大学は数学が専門で、オンタリオ州のウォータールー大学を卒業しました。音楽が好きで、サクスを吹いたりギターやピアノを弾いたりします。



国際交流員
アンドリュー・シューク

今回で、日本に来たのは3回目です。茨城県の日立市と水戸市に住んでいたことがあります。そこで、英語を教えたり、日本語を勉強したりしていました。今回はJETプログラムで再来日することになりました。なぜ日本や日本語に興味を持つようになったかというと、カナダで日本人と知り合って、夏目漱石や遠藤藤作、三浦綾子の作品を読む

ちに日本人の性格などが面白くて、興味深くなったからです。

那珂川町は田舎だと言えば、私のカナダでの暮らしを思い出します。6才の時に、家族が都会から田舎へ引っ越したものですから、家族は皆、生活の習慣を変えなければなりません。カナダの田舎の生活は厳しくて、人間にいろいろなことを教えてくれます。特に、私は忍耐することを学びました。

毎年3月になると、祖父と祖母と家族と一緒にメープルシロップを作ったものです。学校が終わると私は祖父母の手伝いをしました。仕事の後で、いつもお話をしてもらい、彼らから自然の楽しみ方等たくさんを学びました。晴れた夜には天の川がきれいに見えます。夕食後、家族と一緒にゆっくり空を眺めたこともあり。また、それぞれが物思いに耽（ひま）たりすることができます。カナダの生活は私にとって良い経験となり、様々なことを教えてくれる良い先生でした。

そして、家族は都会で生活するより田舎で生活する方が、より絆が深まり、お互いにとって大切なものになりました。

皆さんからも那珂川町の田舎の生活を教えていただきながら、国際交流員としてがんばりたいと思います。

これからよろしく願いいたします。